



神奈川県 神奈川病院だより

基本理念：私たちは、地域の皆様から信頼される病院づくりに努め、常に新しく良質な医療の提供をいたします。

福島県へ神奈川病院医療班を派遣

～ 7月1日、2日の両日原発事故に伴う住民の一時帰宅をサポート～

福島第一原発事故により、周辺に設定されている警戒区域内への住民の一時帰宅が行われていることは、テレビ等の報道でご存じのことと思います。一時帰宅では、損壊した建物への出入りや、防護服を着用しての暑い中での作業となるため、けがや体調不良を訴える住民が現れます。



出発する医療班

こうした住民の診療を行うため、医療班の派遣が要請されました。

当院では、呼吸器外科の杉浦先生、3病棟菅野師長、1病棟山内副師長、経営企画室の高橋係長の4人編成でこの要請に応えました。

現地では、本部・ブロックの情報誤りで、いろいろと苦労があったようです。

以下、医療班の報告をまじえ、活動内容をお知らせします。



医師による線量チェック



体育館内の様子

活動日程	
6月30日(木)	13:00 病院発 } 東名 首都高 東北道 18:20 宿泊地着(郡山市内)
7月1日(金)	7:00 宿泊地発 } 磐越道 常磐道 9:00 現地着(広野中央体育館) 10:00 } 医療活動(一時帰宅者:102名) 15:30 16:00 現地発 } 常磐道 磐越道 17:30 宿泊地着
7月2日(土)	7:00 宿泊地発 } 一般道経由 8:40 現地着(田村市古道体育館) 9:30 } 医療活動(一時帰宅者:381名) 17:30 18:00 現地発 } 常磐道 首都高 東名 0:20 病院着

医療活動の詳細

問診票の記載(一時帰宅者)
問診票から一覧表に転記(病名、服薬名等)
注意すべき記載内容には医師による声かけ
一時帰宅者が戻ってきたら健康チェック
(訴えが無くても医療者から声かけ)
体調不良者には診察・処置・投薬等を実施

第35号 目次

福島県へ神奈川病院医療班を派遣	1
福島第一原発事故に伴う住民の一時帰宅における医療班派遣活動に参加して	2
1日看護体験を行いました!	3
重症心身児者病棟の社会見学について	4
失神を主訴とする病気 徐脈について	4
食中毒が流行する時期は?	5
栄養ひとくちメモ	6
地域医療機関紹介～齊藤医院～/看護師募集	7
各科診療担当医表	8

平成23年9月発行
神奈川病院 広報誌



独立行政法人 国立病院機構
神奈川病院

〒257-8585 神奈川県秦野市落合666-1
電話：0463-81-1771
FAX：0463-82-7533

福島第一原発事故に伴う住民の 一時帰宅における医療班派遣活動に参加して

3病棟看護師長 菅野 洋子



今回、福島県第一原発事故の警戒区域周辺住民の一時帰宅に関わる派遣活動の命を受けた際、役割遂行と共に福島に赴くという事に今までにない不安や緊張を覚えました。現地に近づき車窓に巨大な煙突が2本(実際は火力発電と建屋とおぼしき建物が現れると、思わず「煙突がこんなに近くていいの~?!」「大丈夫?」と声をあげてしまった私達。それだけ怖がっている自身に驚き、風評の根強さを感じました。夏の緑があたりを一色に染める沿道も、人気のない街の静けさと相まって異様な光景に映ります。浜通

りの被害は常磐鉄道の線路を境に明暗がくっきりと分かれ、甚大な被災の修復作業は手つかずの状態でした。地震・津波・原発事故という3重の災害に見舞われた住民にどう対応できるのか頭の中で考えてしまうばかりでしたが、実際に現場スタッフ・住民と会うことで思いは払拭されました。

被災地では住民支援活動は絶え間なく続けられてきたことを、広域災害支援DMATの災害医療センターや広島大学のスタッフの動きから感じ、学ぶことができました。我々も国立病院機構の神奈川病院スタッフとしての役割を果たせるよう協働していこうと思いました。「医療班、こちらをお願いします!」の声に体調不良者の手当てに回り、救護活動を行う中で医療職にある者の使命というものを今さらのように再確認し身が引き締まりました。

体育館に次々と集合される住民の方々はようやく2回目の警戒区域への一時帰宅を迎えられ、貴重品など思い思いの品物を持ち帰る用意をされていました。折からの暑さで体育館は蒸し風呂です。問診・体調確認をし、防護服で全身を覆い物々しい出で立ちで出発されていきます。ほとんどの方は肅々と指示に従って行動されていますが、中には「気分は最初から悪いさ。こんなに全身汗かいて、着替えの用意くらいしたらどうだ」など感情的になられる場面も見られました。「潰れた家に帰っても何も取る物が無いよ」「辛くて家の中にいらなかった」「腐った菜っ葉から水が流れて虫が湧き臭いがすごいんだよ」と嘆かれる方々。述べ483名全員に苛立ち・不安・焦燥感・絶望感などの複雑な思いがあり一時帰宅で増幅されるのだと知りました。各自黒いビニール袋1個ずつの荷物を大事に抱え思い出を持ち帰り現実に向かう姿に胸が熱くなりました。「神奈川から来てくれただね。ありがとう。」と声をかけて下さる方もあり、再び避難場所へ戻られる姿を見送ることができました。

国立病院機構職員として医療支援活動の一端を経験する機会を得たことはとても大きなことでした。これからも様々な形で被災地支援を実践し協力していきたいと感じています。

【医療班からのアドバイス】

これからも原発警戒区域への一時帰宅は続きます。第2弾、第3弾の派遣要請も可能性があります。今回のメンバーから今後の参考となる留意点を伺いました。

常磐自動車道は工事等により車線規制があり予想外に時間がかかる。
高速の一般出口は震災関係車両が多く(無料の証明書等の提示が必要でETCが使えない)渋滞する。

医療班として派遣されている以上、最低限の医薬品、材料、血圧計等の器具は携帯した方がよい。

「問診票」のチェックは想像以上に時間がかかる。

事前の情報は鵜呑みにせず、現地に着いてからの情報収集が大事。

急患が出てから動くのではなく、体育館内に一時帰宅者がいる間は、健康チェックを心がけ軽い声かけが必要。

被災住民の立場を充分理解し、言動には細心の注意が必要。(精神的な疲労がある)
体育館では、医療班自身の暑さ対策が必要。(飲料及びクーラーボックス、冷却スプレー、保冷タオル等)

現地には、医療班以外に消防、警察、厚労省、経産省、自衛隊、原子力保安員、各電力会社、自治体職員等多くの職群がいるので医療班としての役割を確立しておく。

1日看護体験を行いました！

看護師長 室井 弘子

神奈川病院の1日看護体験は、看護の体験学習や看護師の仕事に関する理解を深めてもらうことを目的として開催しています。

高校生を対象として開催された1日看護体験では、平成23年6月19日(日)34名、7月25日(月):10名と多くの方に参加していただきました。参加者の人数にあわせ、看護体験の内容をアレンジしていますが、実際どのようなことを行っているのか皆さんに紹介したいと思います。

当日、受付を終えると全員が白衣に着替え、女子はナースキャップをつけます。参加者の皆さんは、自分のユニフォーム姿に少し照れながらも、嬉しそうな表情をしていました。神奈川病院の紹介をした後、看護体験担当の看護師と一緒に病棟に向かいます。緊張の中、患者さんと話をしたり、働いている看護師の様子を実際に見学することで、普段看護師がどんな仕事をしているのか、少しでも理解していただけたようです。

午後は、「看護体験ブース」へ移動します。「1. 血圧測定・聴診」「2. 体位変換・ポジショニング」「3. 車イス・ストレッチャー」「4. 包帯法・松葉杖」「5. 救急処置」と5つのブースを準備しました。参加者には事前にスタンプラリー用のカード(図1)を配付し、自分たちで進む順番を考えながら、ブースを回ってもらいました。「次はここに行こう!」「全部回れるかな~。」と自主的に参加することができていました。ほとんどの参加者が全てのブースを体験することができました。

交流会では、グループ担当の看護師に質問したり、白衣の写真が貼ってある「修了証」を全員に手渡しました。「やっぱり看護師になりたいと思った。」「楽しかった。」などの声が聞かれたことが担当として嬉しかったです。

将来看護師になりたいと考えている方、ぜひ神奈川病院の1日看護体験に参加してみませんか？



図1 スタンプラリーカード



心肺蘇生法を体験



交流会の様子



松葉杖を使ってみました

重症心身児者病棟の社会見学について

療育指導室 保育士 伊藤 育子

重症児者病棟では、年に7回の外出(社会見学)と2回の院内活動を行っています。毎年、その場所や目的等に合わせたメンバーを決めています。家族も参加するので、利用者は8~9名ですが家族や職員も含めて約20~25名程でリフト付きのバスに乗りドライブを楽しんでいます。今回は5月に実施した社会見学「花菜ガーデン」について紹介したいと思います。

家族が集合した後、途中のデニズで昼食休憩をとりながら現地へ向かいました。

天気にも恵まれ、バラフェスティバルの開催時期とも重なり大勢の人で賑わっていましたが、色とりどりの花々に囲まれた庭園の中を散策することが出来ました。



一緒に参加した家族の方とも途中の藤棚で休憩を取りながら、のんびりと過ごす事が出来たので、家族にも利用者にも笑顔があふれた社会見学となりました。

今後は御殿場の「時之栖」や横浜の「ららぽーと」、大井町の「いこいの村あしがら」にも行く予定になっています。それぞれ食事や買い物、散歩等を楽しみながら、職員や家族とのふれあいを大切にして、楽しい社会見学にしていきたいと思っています。



失神を主訴とする病気—徐脈について

内科医長(循環器科) 野村 秀樹

失神を主訴とする病気は一過性脳虚血発作として脳神経外科に入院される事が多いようです。そうした例のなかには、Stokes-Adames syndromeといわれる疾患群が含まれています。具体的には、完全房室ブロック、徐脈性心房細動、洞機能不全症候群等で、徐脈のための失神です。

脳神経外科的原因疾患がなく、失神の症状あり、心電図等の証拠があればペースメーカー治療の適応となります。

最近の本院での症例を御紹介します。

脳梗塞で右方マヒあり、本院脳神経外科通院されていた89歳女性です。

一過性意識消失発作にて当院入院。脳神経外科へ入院。理学的所見は新しい神経学的問題は認められませんでした。MRI検査で脳梗塞の既往、今回は頭部画像上、明らかな責任病変は認められませんでした。

原因精査入院中、朝午前9時頃、血圧低下、脈拍低下が突然起こり、意識消失状態となりすぐで回復。モニター上長い休止期が認められました。入院時の症状も、今回と同様だったとの事でした。

循環器科依頼あり循環器科転科。

徐脈性心房細動で長い休止期があったと考えられたため、一時的ペースメーカー(図1)を施行しました。日をあらためて、自己調律が心房細動ですので、VVIペースメーカー植込み術(図2)を施行いたしました。

(注) VVI: 心室の自己脈を感知し、一定の時間自己脈が打たないとペースメーカーが働くもの

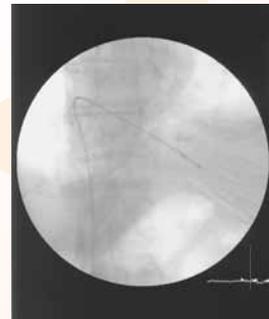


図1



図2

食中毒が流行する時期は？

感染管理認定看護師 大渡 由美子



まだまだ暑い日が続いています。この時期は食べ物がいたみやすいため、食中毒が多く発生します。しかし、食中毒はこの時期だけでなく一年を通じておきています。季節や食べ物の種類によっては増える時期があるのです。

最近では保存技術の進歩がめざましく、一年中いろいろな食べ物が手に入るようになりましたが、過信してはいけません。食中毒を予防する方法と、普段行っている食事の準備や片づけについて考えてみましょう。

食中毒の種類は、細菌・ウイルス・自然毒の3つに大きく分かれます。

細菌

- ・食べ物が腐ったことによる食中毒は最も多い
- ・梅雨から夏の暑い時期に多く、おにぎり、刺身、肉などいろいろな食材

ウイルス

- ・生ガキのノロウイルスや、子供に多いロタウイルスが有名
- ・野生動物の肉などに含まれる（A型肝炎・E型肝炎ウイルス）

自然毒

- ・ジャガイモの芽、ふぐ、毒キノコ、青梅など

問：食中毒を予防するにはどうしたらいいの？

答え：食中毒を予防する3原則を守りましょう

3原則「つけない」

食中毒菌が食べ物につかないよう、**手洗い**をきちんと行いましょう。魚や肉を切ったまな板や包丁は、そのつどきれいに洗いましょう。また、焼肉では肉を焼く箸と食べる箸は別にしましょう。

つけない



3原則「増やさない」

低温（10℃以下）では細菌の増殖がゆっくりとなるため、食品はできるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。ただし、冷蔵庫は過信せず、早めに食べることが大切です。

増やさない



3原則「やっつける」

ほとんどの食中毒菌は、熱によって死んでしまいます。中心の温度が75℃で1分加熱するとよいといわれています。まな板や包丁などの調理器具もよく洗ってから熱湯消毒をすると効果的です。

やっつける



問：食中毒になってしまったらどうしたらいいの？

答え：水分補給が大切です

下痢や嘔吐をすると、体の中から水分が抜けて脱水症状になりやすいので、できるだけ水分を補給することが大切です（腸を安静にするため、水分を制限する場合もあります）。水よりも吸収がよく、塩分と糖分の入った補水液がよいでしょう（簡単な作り方は「神奈川病院だより6月号」をご参照ください）。

下痢止めは、体の中に食中毒の菌やウイルスをとどめてしまうので、飲まないでください。吐いた物や便の片づけには、次亜塩素酸ナトリウム（ハイター）で消毒することが必要です。

栄養ひとくちメモ

しいたけ ~ 秋の味覚 ~ 栄養管理室 木村 祐子

きのこの食用としての歴史は古く、身近な存在であったことが縄文時代の遺跡にみられています。その中で今回は、日本で最もポピュラーな“しいたけ”について紹介します。



しいたけは、3~5月と9~11月に旬の時期をむかえます。秋に収穫されるしいたけは、はりがあり、抜群の香りとうま味を味わうことができます。購入するときは、かさが厚く、軸が太く短いものを選びます。また、栄養成分としては骨の強化にも有効なビタミンDや、便秘予防にも良い食物繊維を多く含んでいます。

生しいたけと干しいたけはそれぞれの特長を生かした調理をすることで、一層おいしく食べることができます。生しいたけは、焼きものや揚げもの、炊き込みご飯など香りを生かした料理に、干しいたけは、煮物や佃煮などうまみを生かした料理に使うと良いでしょう。

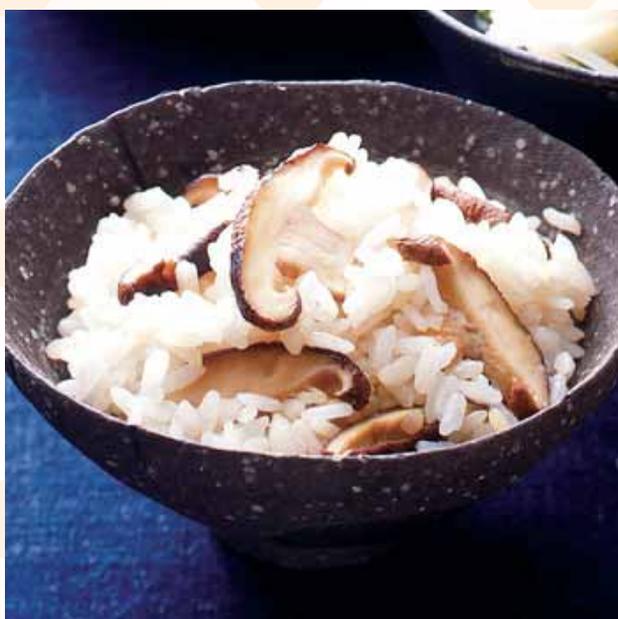
旬の時期に食べてこそ、野菜は本当のおいしさを味わうことができます。

秋の味覚を、ぜひ食卓で味わってみてはいかがでしょうか？



干しいたけを使った煮しめ

おすすめの料理は・・・



生しいたけを使った炊き込みご飯



地域医療機関 紹介



齊藤医院

院長名 齊藤 彰
診療科目 耳鼻咽喉科 / 気管食道科
所在地 神奈川県秦野市栄町5-4
電話番号 0463-81-0538

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
AM9:00~12:00				休			休
PM2:00~6:00				休		休	休

休診日 木・日・祝祭日・土曜午後

齊藤医院は昨年50年ぶりに建て替えをしました。当院は私の父が昭和34年9月に有床の耳鼻咽喉科医院として開設したのが始まりで、昭和61年に父が他界したのを機に私が引き継ぎました。久しぶりに受診された方は診療所が全く変わっているのに驚かれるようです。

今回の建て替えでは、駐車場と診療所を一体化してバリアフリーとすること、診察室の個室化を図ることが目標でしたが何とか実現できたと思っています。

無床の耳鼻科診療所の「容積」としては大きい方だと思いますが、スタッフは私を入れて最大4名で運営していますので舞台裏は結構バタバタしています。

神奈川病院には日頃からCTやMRIの撮影でお世話になっていますし、私が秦野養護学校の校医をしていることもあって重症心身障害児の病棟には健診でも往診でも伺う機会があります。今後とも良好な病診連携が保てるよう、よろしく願い申し上げます。



看護師募集

～ホームページも是非ご覧下さい～

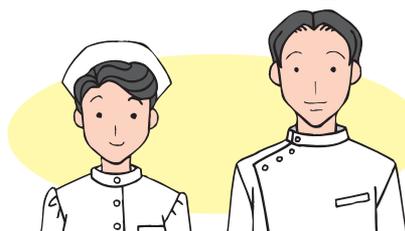
<http://www.hosp.go.jp/~kanagawa/>

国立病院機構神奈川病院

☎ 0463-81-1771 (代表)

看護部長室 (内線) 8700

管理課 (内線) 2121



各科診療担当医表

平成23年9月1日現在

科別	曜日	月	火	水	木	金
総合内科	後町	前島	前島	前島	佐久間	
腎臓内科		前島	前島	前島		
循環器内科	亀崎野村	吉田9:00- 石井(孝)	松崎(秀)	亀崎野村 9:00-	野村	
呼吸器内科	大久保	河合	君塚 9:30-	布施川	大久保	
消化器内科	後町	鈴木(俊) (紹介制)	後町 (紹介制)	佐久間 (紹介制)	佐久間	
神経内科		植杉 14:00- (予約制)			阪部 9:00-	
心療内科				松崎(淳) 9/8 午前・午後 (予約制) 9/15・9/22 9/29 午前(予約制)		
精神科						
小児科	萬木(晋) 渡辺 14:00- (予約制) 石井(徹) 9:00-	萬木(暁) 9:00- 萬木(晋) 13:30- (予約制)	渡辺 9:00-午後 (予約制) 萬木(暁) 14:00- (予約制) 佐藤	渡辺 9:00-	萬木(晋) 石井(徹) 9:00-	
アレルギー科 (小児)	萬木(晋) 渡辺 14:00- (予約制)	萬木(暁) 9:00- 萬木(晋)	渡辺 9:00-午後 (予約制) 萬木(暁) 14:00- (予約制) 佐藤	渡辺 9:00- 午後 第2・4 予防接種 健診	萬木(晋) 石井(徹) 9:00-	
小児外科	村上					

科別	曜日	月	火	水	木	金
外科 消化器外科	前田	鈴木(俊)			前田 (紹介制) 櫻井 13:00-(予約制) 清水 午前・午後(予約制) 第3のみ	岡本
呼吸器外科				加勢田 根本		加勢田 井澤
脳神経外科	木村	齋藤	堀	口	市末	寄
整形外科	数枝木 9:00- 山本	山本 (器具外来) 野尻 9:00-				数枝木 9:00-
泌尿器科		浅沼 10:45-(予約制)				田野口
皮膚科			足立 9:15-			川崎 9:30-
糖尿病外来			近藤 9:00-			
結核・ 抗酸菌外来		米丸 第2のみ 10:00-				
乳腺外来		寺田 14:00-(予約制)				鈴木(育) 14:00-(予約制)
小児神経外来 (てんかん外来)					四家 第4のみ13:00- (予約制)	
てんかん外来						杉山 第4のみ 10:00-11:00 (予約制)
成育心身 医療科					松崎(淳) 9/8 午前・午後 (予約制) 9/15・9/22 9/29 午前(予約制)	

心療内科・松崎(淳)先生は、月毎に変更となるためご確認をお願いいたします。
また、初診・予約外の方は事前にご連絡下さい。



ボランティア募集

国立病院機構神奈川病院では、外来患者さんや入院患者さんの方々が気持ち良く診療が受けられるように、また安心して入院生活が送られるように、暖かい気持ちで、活動していただける方々の参加をお持ちしております。

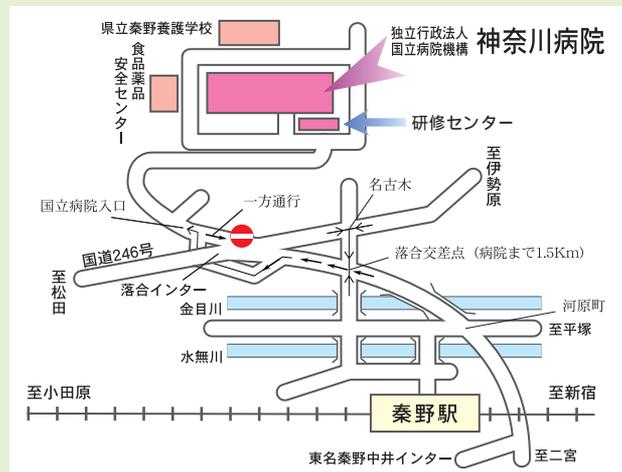
- [活動内容] 外来の案内 病院内の案内
入院患者さんのお話し相手
楽器の演奏・歌・踊り お芝居など



【ボランティア受付】木村 庶務班長(内線2110)
谷嶋 看護師長(内線 8207)

お気軽にお問い合わせ下さい!

案内図



小田急線「秦野駅」下車神奈川中バス 番乗場「国立神奈川病院」行
終点(所要時間約13分)

車利用
東名高速道路「秦野中井」より約10分
矢印の方向へお進み下さい。●は進入出来ません。

編集担当者

- 統括責任者：加勢田 静
発行責任者：加勢田 静
編集責任者：中澤 幹夫 森 由美子
編 集：高橋 渡 谷嶋 寿々子 早瀬 大輔
堀越 義治 山岸 豊 市川 喜代子
片山 朋美 木村 祐子 馬場 里佳